

地域企業紹介 No. 45

谷津建設株式会社

建築と製造業が手を組んで 新しい可能性に挑戦する

谷津建設株式会社の谷津弘代表取締役社長を相模原市中央区東淵野辺の本社に訪ねました。

同社の始まりは大正3年に谷津さんの祖父が鎌倉で興した谷津忠五郎建築業。祖父の忠五郎氏は福島に生まれ同地で大工や土木の腕を磨き、福島白河城の修復にも携わる。その後、北海道、そして鎌倉に移り住み鎌倉では建長寺山門の修復などにも関わった。同社は鎌倉に拠点を構えていたが、昭和13年頃から始まった軍都計画により相模原中心に工場、軍事施設、住宅などの仕事が急増したことから父谷津久男が相模原の仕事を数多く手がけるようになる。そして、昭和29年に相模原市淵野辺に移転し、谷津建設有限会社を設立する。

谷津さんは昭和50年に谷津建設に入社。入社した当時は相模原市が人口急増に伴い道路、下水道、小・中学校などの整備に追われていた時期で公共事業さえやっていれば建築会社は成長を遂げられた時代だった。谷津建設も公共工事が90%を占めていたが、そんな中で起きた公共工事のトラブルで仕事は激減した。谷津さんは民間工事の営業に奔走し、相模原市内に移転を希望する印刷工場の受注に成功する。土地の確保に困っていた同社に土地を紹介したことが受注に繋がったそうだ。単なる建築請負ではなく、土地の斡旋、資金調達、テナント紹介、施工・管理運営サポートなどを総合的にサポートする谷津建設の現在のスタイルの萌芽となった仕事だった。その後も商業ビル、マンション、福祉施設、教育施設を次々と手掛けていき、今は民間90%、公共10%に。

(2面につづく)

谷津建設株式会社

代表取締役社長 谷津 弘 (やつ ひろし)

所在地：相模原市中央区東淵野辺4丁目24番15号

従業員数：51名 売上高：70億円

事業内容：建築の設計、施工。建物保守管理、建物賃貸管理等

URL：http://www.yatsu.co.jp

今、谷津建設が施工した「江の島湘南港ヨットハウス」が注目を集めている。施主は神奈川県、設計はヘルム+オンデザインパートナーズ。神奈川県建築コンクール優秀賞、神奈川県建築士会賞、神奈川県建設業協会賞を受賞し、2016年日本建築学会作品選奨にも選ばれている。海辺の立つこのヨットハウスは「湘南の波と帆」をイメージした面積約2,000平方メートルを超える波のように大きくうねった一体成型の大屋根が特徴で、今までに実例が少ない3次元自由曲線の複雑な構造をしている。その設計図は山や谷の起伏を示す等高線で描かれていたという。等高線で表された3次元自由曲線の大屋根をイメージし、施工図に落とすことはとても難しく、谷津建設のスタッフは頭を抱えたそうだ。困り果てた谷津さんは伝を頼って大手ゼネコンにも相談にいったが「こんな難しい仕事、県からペナルティーを課されても、辞退したほうがいい」と助言されたそうだ。あるウェブサイトを見ると「建築屋にとってはどこを見ても施工時の苦労が垣間見れる。きっと竣工時、全関係者は出来上がった建物を見て涙したのではないだろうか」という記事もある。

困り果てていた時に助っ人が現れる。友人である工業用モデル制作を手掛ける湘南デザインの松岡社長が百分の一の模型を3Dプリンターで作ってくれるという。考えてもみなかった提案に谷津

さんは半信半疑だったが、完成した模型を見てスタッフ一同が「なるほど、こんな形をした建物なんだ」と目から鱗だったようだ。この模型によって、大屋根と建物の内、外が明確にイメージすることができ、施工図もスムーズに仕上がった。現地での施工も順調に進み2014年4月に完成している。工業用製品製造で使われるモノづくり技術と建築技術が融合された新しいスタイルが確立されたのだ。完成から2年後の今年6月、この湘南港は東京五輪・セーリング競技のメイン会場に選ばれた。

革新は物事の限界、境界を越えた領域で起きる。ある経営者は「仕事や事業に限界線を引いて、ここまでしかやらないと言ってしまうと、新しい仕事も事業も生まれてこない」と語っている。

谷津社長率いる谷津建設には限界や境界を越えて、新しい可能性に挑戦し続けて欲しいと思う。建築を愛して止まない谷津さん、期待しています！



江の島 湘南港ヨットハウス 外観・内観

プロフェッショナルな 技術集団として挑戦し続けます！

株式会社ACR

自動車用排気ガス浄化装置の製造・販売事業を基盤に、新たな分野としてパワーエレクトロニクスを活用した製品開発に取り組む株式会社ACRの橋本パワーエレクトロニクスR&Dセンターをご紹介します。エレクトロニクス開発部長の秋山 和成氏にお話を伺いました。

R&Dセンターでは、ハードウェア及びソフトウェアの設計や評価を基軸に、主にレンジエクステンダーEV(航続距離を確保するために発電用エンジンを搭載した電気自動車)や部品の統合型双方向型インバーターユニットの開発を行っています。

そして、パワーエレクトロニクス分野の民活型オープンイノベーション共同体であるTPEC(つくばパワーエレクトロニクスコンステレーション)での技術交流や

産業技術総合研究所との共同開発などを積極的に行っています。

レンジエクステンダーEVの開発は、海外にも大きくPRできるビジネス機会となる東京オリンピック開催の2020年の事業化を目指して取り組んでいます。

また、パワーエレクトロニクス技術を生かしてHEMS製品の開発を行っており、IoT製品としてAndroid端末やi-Pad等のタブレット端末を利用した電力やその他のセンシング情報の見える化のプロジェクトを推進しています。将来的には、クラウド化した管理システム技術の確立とビッグデータの活用により、お客様の生活状況に沿った情報・サービスの提供を検討しています。

現在、このようにパワーエレクトロニクスの研究開発が進められるのは、人との

繋がりにしは得られなかったものであることを再認識しています。今こそ恩返しをする時であり、これからの人材に繋がって行かなければと感じています。プロフェッショナルな技術集団として、日本の本来の「モノづくり」に再挑戦です！



橋本パワーエレクトロニクスR&Dセンタースタッフの皆さん



SIC パワーモジュール

株式会社ACR
橋本パワーエレクトロニクスR&Dセンター
SIC-1 310号室
TEL :042-703-6007
URL: <http://www.acr-ltd.jp/>

NEDO採択事業のご紹介

1. <次世代パワーデバイスを用いた発電電動一体ターボチャージャーによる排熱回収システムの研究開発>
http://www.nedo.go.jp/news/press/AA5_100397.html
2. <次世代パワーデバイスを用いたEV用パワーユニットの開発>
http://www.nedo.go.jp/koubo/DA3_100078.html
3. <レンジエクステンダー用超低燃費ディーゼル発電パワートレインシステムの開発>
http://www.nedo.go.jp/koubo/DA3_100061.html

美術デザイン系大学が集積する相模原市・橋本の特徴を生かし、クリエイティブの力で地域を盛り上げようと、相模原周辺エリアで活動する多摩美術大学卒業生が中心となって、昨年、「橋本デザイン会議」が発足しました。「橋本デザイン会議」は、さがみはらエリアの企業と発表の場を求めているクリエイターとの出会いの場を設け、地域のビジネスを活性化させる有効な切り札としてクリエイティブの力を紹介する

活動を目指しています。企業の特徴や悩みから、「デザイン」で解決するテーマを設定し、学生クリエイターから多様なアイデアを募りました。募ったのは「さがみはらエリア」の5つの企業。事業の発展を目指して託したテーマとその受賞作品をご紹介します。第三回は、2016年3月に表彰式を行ったHDMバイタリゼーションデザインアワードから、株式会社イノウエです。

テーマ



静電気軽減アームブレス新パッケージデザイン

人に贈りたくなる「冬のプレゼント」

導電性の糸を使用することで、静電気を空气中に逃すことができるアームブレス。乾燥した冬、静電気に悩む同僚や家族や友人などに贈りたくなる「冬のプレゼント」として販売できるような魅力的なパッケージデザインを募集しました。



制作者: 森脇 紘子(横浜美術大学) カスタマーを楽しませる パッケージの提案

学生クリエイターからのコメント(制作意図)

色・柄のバリエーションを豊富に取り揃えることで、人にプレゼントしたくなるパッケージの提案。ファッションアイテムブランドとしての確立、企業の品質アピールと顧客層の拡大を目指しました。

テーマ主題企業から、作品へコメント

審査会では魅力的なアイデアが多く、選考に悩みました。その中でもブレスに合った丸いパッケージに、目を惹かれました。より多くの方が商品を手にするきっかけになってもらえればと思います。

コーディネーターからのコメント

商品バリエーションの豊富さを1つ1つ違ったパッケージで表現した色とりどりで楽しい提案です。贈る相手を思い浮かべて選びたくなるようなカラフルなパッケージは、売り場までもワクワクするものに変えてくれそうです。本作品と同時に副賞を受賞した作品は、株式会社イノウエとサレジオ高専で産学連携プロジェクトに発展しました。(小崎 直利 デザイナー)



学生プレゼンテーション動画

テーマ出題企業: 株式会社イノウエ

昭和3年より相模原の地で組み紐の製造を続けてきた企業。時代の流れとともに女性向けのヘアゴムを製造するようになり、現在では国内シェア6割を占める。ヘアゴムのような低価格なOEM商品のみならず、今回の静電気軽減アームブレスのように自社オリジナル商品などの高価格帯の商品開発も精力的に行っている。

代表者: 代表取締役社長 井上 毅

所在地: 〒252-0155 神奈川県相模原市緑区鳥屋750番地

<http://www.inoue-braid.co.jp/>

貝だしラーメン 貝ガラ屋

今回は淵野辺の貝だしラーメンのお店「貝ガラ屋」を紹介します。まるで浜辺の海小屋のような店内で濃厚牡蠣そばと濃厚牡蠣つけ麺をいただきました。スープをすすると口いっぱいに広がる牡蠣の味、中太麺でもちもちの麺、そして地元相模原の「さがみはら香福豚」で作られたローストビーフのようなチャーシュー、どれを食べても絶品でした。店主の永山さんは「他にないラーメンを作りたい!」と、何度も何度も試作を重ねこの一杯に辿り着いたとおっしゃっていました。ここでしか味わえない唯一無二のラーメン、ごちそうさまでした。(大谷)

相模原市中央区淵野辺本町3丁目24-3 マンション色利1F 電話: 042-707-8556

営業時間: 11:30~15:00 18:00~21:00 定休日: 毎週月曜日

限定やお休みはTwitterで発信しています! @kaigara_ramen ←確認してからGO!





ヒトとロボットが 協働する未来社会

～最先端ロボットテクノロジーが拓く豊かな社会の実現に向けて～

製造現場、インフラ、医療・介護分野など多くの領域で、人とロボットが共存し、ロボットが明日の人類社会にどのように貢献できるか、最先端のロボット技術の開発動向を紹介し、新たなビジネスチャンス創出のヒントを得ます。

日 時：平成28年10月7日(金)午後5時30分～7時30分

スケジュール(内容)

午後5時40分～

「ヒトとロボットが協働する未来社会」
スタンフォード大学
コンピュータサイエンス学部 教授
ロボティクス研究所 ディレクター
Oussama Khatib 氏 ※同時通訳あり



午後6時40分～

「ロボットの未来」
東京大学 名誉教授
フューチャーセンター推進機構
ロボット化コンソーシアム
佐藤 知正 氏



午後7時30分 閉演

会 場：青山学院大学 相模原キャンパス E棟301教室
(相模原市中央区淵野辺5-10-1)

参加費：無料 定員：200名(先着順)

お問い合わせ先：SIC(担当：事業創造部 五島・霜村)

2016.9 SIC EVENT CALENDAR イベントカレンダー

9月3日(土)～12月3日(土) 全7回 SICカイゼン・スクール

9月20日(火) 入居者交流会

9月27日(火) 事業承継連続セミナー(第1回)

10月7日(金) 第36回南西フォーラム

10月12日(水) The HINT No.30

10月25日(火) 事業承継連続セミナー(第2回)

11月22日(火) 事業承継連続セミナー(第3回)



The HINT30

会社の未来を描く“税理士の視点”～税理士との付き合い方が経営を変える!!～

基調講演 「税理士の視点を経営に活かす！」

講 師：天野俊裕税理士事務所 代表 天野 俊裕 氏

<http://www.amano-tax-office.jp/>

パネルディスカッション「税理士・金融機関との付き合い方」

パネリスト 天野 俊裕氏(天野俊裕税理士事務所代表)

橋元 雅敏 (SIC代表取締役、金融機関OB)

コーディネーター 片山 寛之(SIC インキュベーション・マネージャー)

日 時：平成28年10月12日(水)17時30分～19時30分

会 場：さがみはら産業創造センター SIC-2 大会議室

対 象：SIC入居企業様 ※入居企業様以外で受講を希望される方は、下記お問い合わせ先までご連絡ください。

費 用：無料 定員：20名(先着順)

お問い合わせ先：SIC(担当：事業創造部 樽川・片山)

事業承継連続セミナー & ミニ相談会

主催：首都圏南西地域産業活性化フォーラム

あなたは会社を誰に引き継ぎますか！ 事業承継は経営者に課せられた使命

南西フォーラム分科会 ≪事業承継セミナー≫

会社を承継するためには幾つものハードルが待ち構えています。後継者の問題、保有する株式、資金、設備などの資産、信用、特許・ノウハウ、そして顧客などの経営資源を承継することは容易なことではありません。事業承継に精通した専門家の話は、皆さんが抱えている事業承継に対する漠然とした不安や悩みを解決する一助になると確信しています。是非、ご参加ください。

【開催日】 ※3回連続の受講をお勧めしますが、単発の参加も歓迎します。

第1回：平成28年9月27日(火)

「本当は怖い財産相続の話～知らなきゃ損する財産相続～」

講師：金子 一徳氏(事業承継センター(株) 取締役COO)

第2回：平成28年10月25日(火)

「これから始める！ いちばんやさしい事業承継入門」

講師：内藤 博氏(事業承継センター(株) 代表取締役CEO)

第3回：平成28年11月22日(火)

「後継者の選び方・育て方・渡し方」

講師：堀 浩輔氏(事業承継センター(株) 取締役CIO)

時 間：各回共にセミナー19:00～20:30 ミニ個別相談：20:30～21:00

会 場：SIC-2 1F大会議室 費用：2,000円(講義で使用する「事業承継ノート」代)

定 員：20名 お問い合わせ先：SIC(担当：事業創造部 五島)

詳しくは、SICホームページをご覧ください。

<http://www.sic-sagamihara.jp>

knock!
knock!

入居企業を募集しています。

SIC空室情報 (2016年9月8日 現在) ※お気軽にお問い合わせください。

部 屋	空 室 数	賃料/月額 (共益費・消費税別)
SIC-1		
○スモールオフィスA(23.6㎡)	2	61,900円
○スモールオフィスB(17.3㎡)	1	47,600円
△スモールオフィスB(17.3㎡)	1	47,600円
11月中旬以降入居可能です。		
SIC-2		
△オフィス(50.2㎡)	1	149,600円
11月以降入居可能です。		
SIC-3		
空室はありません	-	-

編集後記

今年も夏が過ぎようとしています。多くの企業や個人の方々からの寄付やご好意で成り立っているSIC夏のイベント「子どもアントレ」も無事終了する事ができました。当日の様子をご報告のページをホームページ上にアップしていますので、どうぞ、ご覧ください。

そして、秋はセミナーが多い季節です。企業の皆さまのお役にたつセミナーを企画しておりますので、どうぞ、ご利用ください。(広報担当)



(株)さがみはら産業創造センター(SIC)
〒252-0131 相模原市緑区西橋本5-4-21
電話：042-770-9119 FAX:042-770-9077
E-mail: koho@sic-sagamihara.jp

ご意見・ご感想を
お待ちしております。

ウェブサイト <http://www.sic-sagamihara.jp/>